

設置説明書

ビルトイン電気スチームオーブンレンジ

型式
RKO-M31E

設置される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 設置が終わったら **6** **設置後の点検確認** のチェックリストに基づいて、必ず点検確認してください。
- 設置終了後は、この「設置説明書」を「取扱説明書・レシピブック」とともに必ずお客様にお渡しください。




1	安全に正しく設置していただくために	2
2	寸法図	3
3	同梱部品の確認	4
4	電気配線工事	5
5	機器の設置	6
6	設置後の点検確認	裏表紙
7	試運転	裏表紙

Rinnai

1









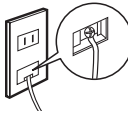


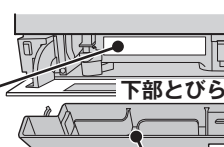

安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、設置作業や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が差し迫っていることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

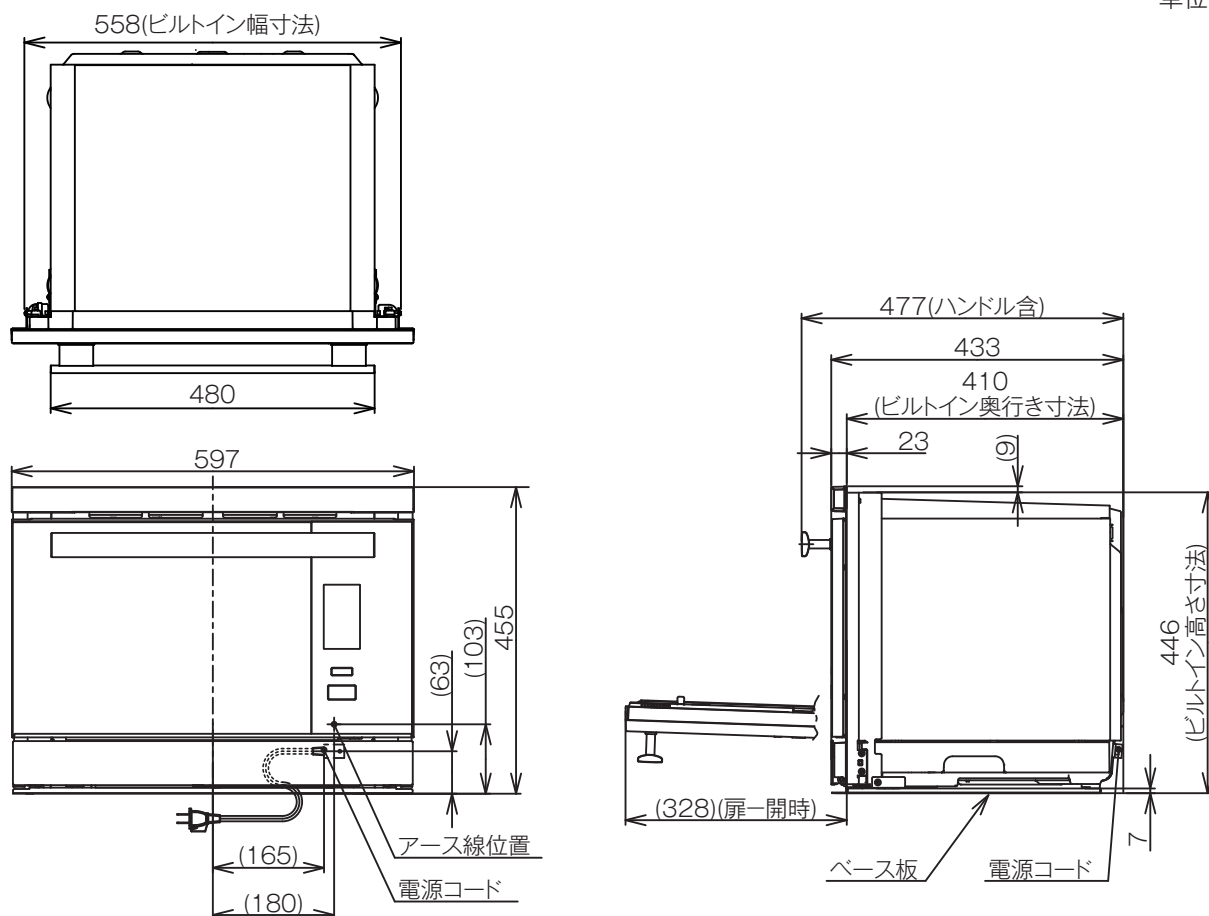


 危険	
 ■設置工事で必要なおとほ以外は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない (電波漏れや感電、火災の原因のおそれ)	 ■排気口やすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない (電波漏れや感電、火災の原因のおそれ)
 警告	
 <ul style="list-style-type: none"> ■この「設置説明書」をよく読み、指定された設置をおこなう (機器の損傷・感電・火災の原因) ■電気配線工事は、電気設備技術基準など、関連する法令・規則などに従って必ず、「法的有資格者」がおこなう ■必ずAC100V定格15A以上の専用回路を単独で使用する (感電や火災の原因) ■電源プラグのほこりを取り除き、プラグの根元までしっかり差し込む 	<ul style="list-style-type: none"> ■異常・故障時には、直ちに使用を中止し、専用ブレーカーを切り、販売店へ点検・修理を依頼する 異常・故障例 <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグやコードが異常に熱くなる。 触れると電気を感じる。 ●スタート操作をしても加熱しない。 自動的に切れないときがある。 ●異常なおいや音や振動がある。 ●ドアに著しいガタや変形がある。
 <ul style="list-style-type: none"> ■傷んだ電源コードやプラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない ■電源コードを加工したり、傷つけたり、変形させたりしない (加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込むなどすると、コードが破損し、火災・感電・ショートの原因) 	 ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない (感電・けがの原因) ぬれ手禁止  ■アースは確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電のおそれがあります。 アース線接続 
 注意	
 <ul style="list-style-type: none"> ■機器設置の際には必ず手袋をする (手袋をしないとケガのおそれ) ■設置する機器が使用する電源の電圧に適合しているか、銘板で確認する (合っていない場合、機器の損傷・感電のおそれ) ■試運転終了後は、本機器接続の専用ブレーカーを「切」にする 	 <p>銘板 下部とびら つゆ受け</p> <p>下部とびらを開き、つゆ受けを取り出すと銘板があります。</p>  ■試運転中は、ドア・排気口など高温部に触れない (機器の損傷・感電・火災の原因)

2 寸 法 図

1. 外形寸法図

単位:mm

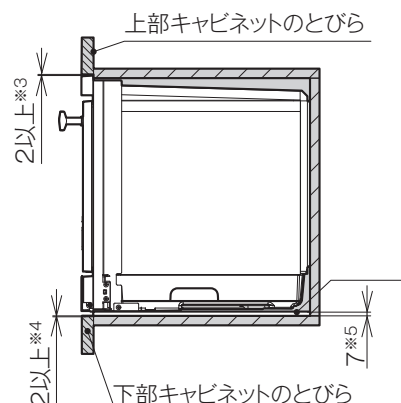
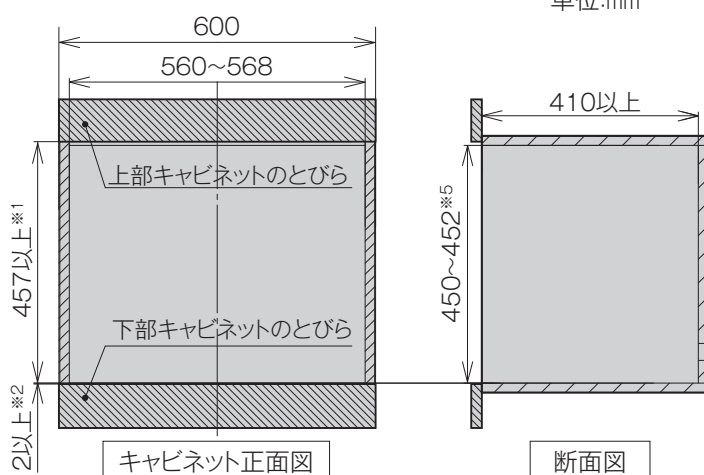


2. キッチン組み込み寸法図

単位:mm

場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
離隔距離 (cm)	0	0	0	開放	0	0

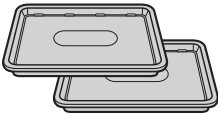
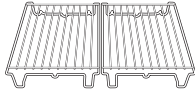
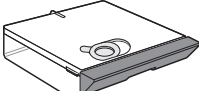

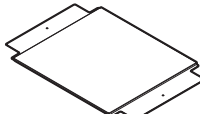


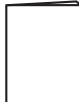
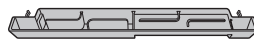
「消防法 基準適合 組込形」

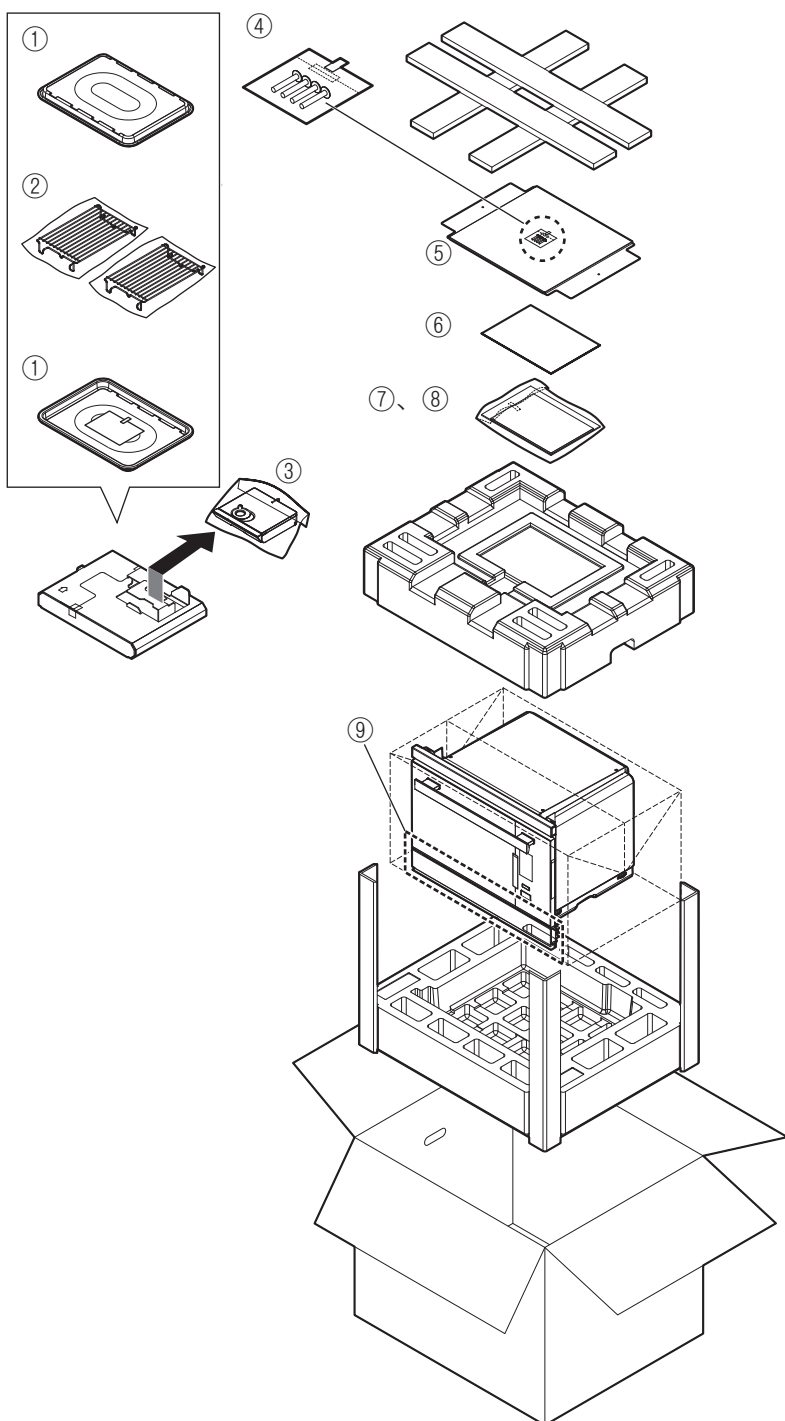


- (※1) 上部キャビネットのとびら下面と収納キャビネット底面との距離
- (※2) 下部キャビネットのとびら上面と収納キャビネット底面との距離
- (※3) 上部キャビネットのとびら下面と機器上面とのスキマ
- (※4) 下部キャビネットのとびら上面と機器下面とのスキマ
- (※5) ベース板(厚み7mm)の無い状態でも設置は可能ですが、機器の設置面が下がるので、下部キャビネットのとびら上面と収納キャビネット底面との距離(※2=9mm以上)を確認ください。キャビネット高さ寸法は443mmになります。

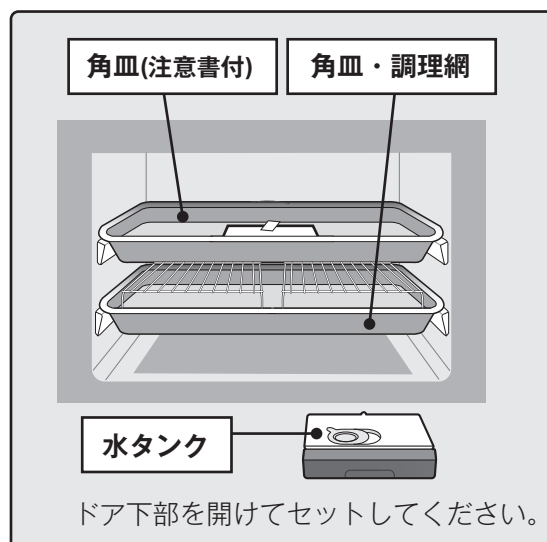
3 同梱部品の確認

■ 部品不足のないことを確認する

①角皿(2枚) 	②調理網(2枚) 	③水タンク 	④本体固定ねじ(4本) (木ねじ4.1X25mm) 	⑤ペース板 (両面テープ付) 
⑥設置説明書 	⑦取扱説明書 (保証書付) 	⑧レシピブック 	⑨つゆ受け (ドア下部内部に セット済み) 	



7 試運転 後、付属品は下図のように
セットし、作業を終了してください。



■電気配線工事は、電気設備技術基準など関連する法令・規則などに従って必ず「法的有資格者」がおこなう。

1. 専用回路の設置

■電源は、漏電ブレーカー付専用回路を設置する。

- AC100V定格15A以上の専用ブレーカーで、コンセントは単独で使用してください。
- 接地付電源コンセントを使用してください。

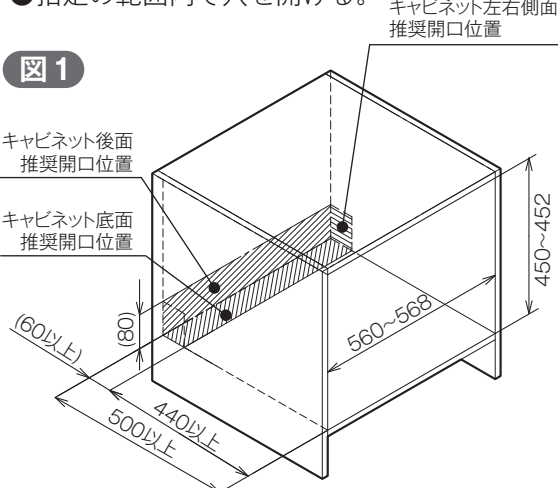
2. 電源コンセントの設置

①電源コンセントを収納キャビネット外に取り付ける場合の推奨電源開口位置

- 収納キャビネットに後板がある場合は、推奨範囲内(後面・底面・側面)に電源コードプラグとアース線を通すため、ホールソーなどを使い、 $\phi 32\text{mm}$ 以上の穴を開ける。
- 穴をふさぐときは、市販のシーリングプレートを使う。

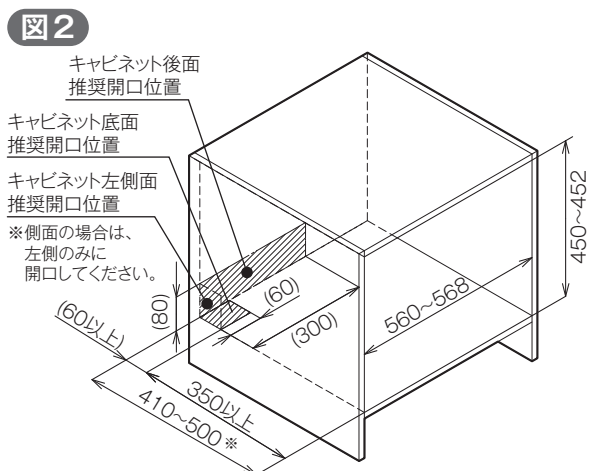
■収納キャビネット奥行500mm以上の場合の推奨開口位置 図1

- 指定の範囲内で穴を開ける。



■収納キャビネット奥行410~500mmの場合の推奨開口位置 図2

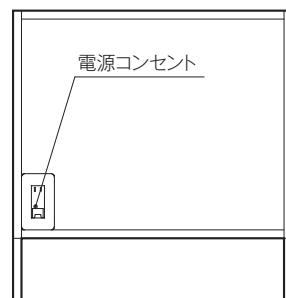
- 指定の範囲内で穴を開ける。側面の場合は、左側のみに穴を開ける。



②収納キャビネット後面に電源コンセントを取り付ける場合

- 収納キャビネット後面に電源コンセントを取り付ける場合は奥行き500mm以上必要。 図3
- その場合、電源コンセントは、必ずキャビネット後面左下隅に取り付ける。
- キャビネット奥行410~500mmの場合は、収納キャビネット内に電源コンセントは設置しない。
- 奥行きが短いので、機器と電源プラグが干渉する恐れあり。

図3



3. アース工事

■アース工事を必ず行う。

●接地付電源コンセントを使用してください。

●アース工事は、電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう、法令で定められています。

●アースはガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他製品のアース回路には絶対に接続しない。

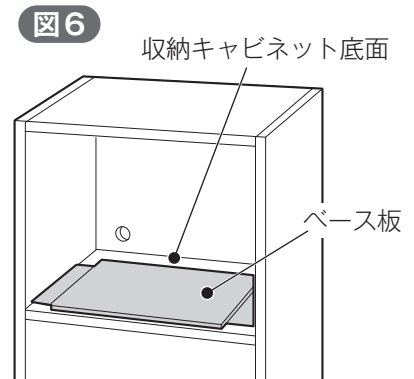
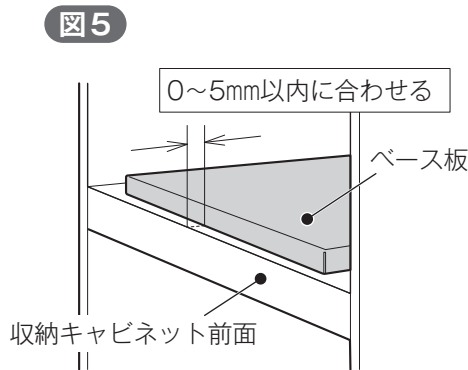
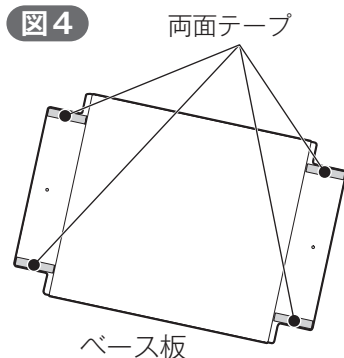
※本体価格に電気工事費・アース工事費は含まれていません。

1. 設置前の確認

- ①収納キャビネットが本機器組み込み指定寸法であることを確認する。
- ②AC100V専用回路で工事され、電源電圧と所定位置に電源コンセントが取り付けられていることを確認する。

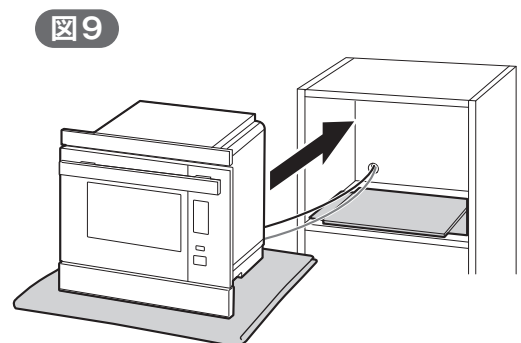
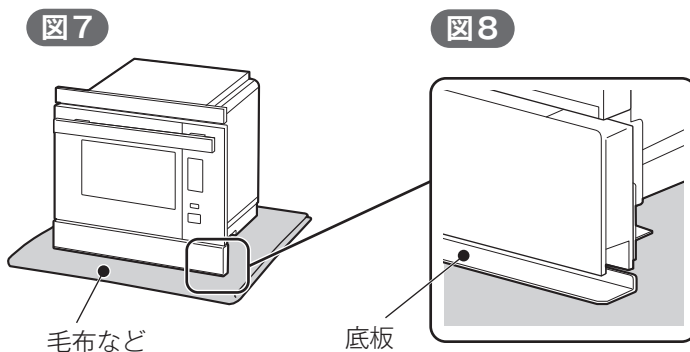
2. ベース板の取り付け

- ①ベース板裏面にある両面テープ(4か所)をすべてはがす。 **図4**
- ②ベース板前面と収納キャビネット前面の面を0~5mm以内に合わせながら、ベース板を収納キャビネット底面中央に配置して、しっかり固定する。 **図5 図6**
※ねじで固定することも可能。



3. 電源コードとアース線の配線

- ①収納キャビネットの前に床面保護の毛布などを敷いて、機器を置く。 **図7**
機器下部にある底板が変形しないように置き方に注意してください。 **図8**
- ②電源コードが短い場合は、別売品の中継電源コード1.9m(部品コードNo. 206-325-000)を使用して延長する。お買い上げの販売店、または施工店にお問い合わせください。
●市販品の中継電源コードで延長する場合は、必ず耐トラッキング対策してある定格15A以上の中継電源コードを使用してください。
- ③アース線が長く余る場合は、線を短く処理をして長さを調整する。
- ④収納キャビネット後方の開口部に電源コードとアース線を通す。
●たるんだ電源コードとアース線を引っ張っておく。 **図9**



4. 電源プラグとアース線の接続

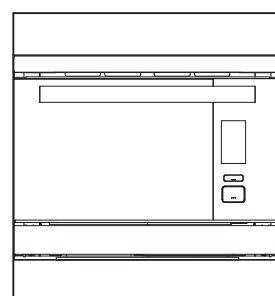
- ①収納キャビネットの内部に電源コンセントがある場合は、電源コンセントに電源プラグとアース線をそれぞれ接続する。**図10**
- ②キャビネットの外部に電源コンセントがある場合、電源コードとアース線を開口部から引っ張り出しておく。**5. 機器の設置と固定**で接続する。
 - 電源コードとアース線が機器にかみ込んでいないか確認する。
 - アース線の先端をはずし、アース端子に確実に固定する。



5. 機器の設置と固定

- ①電源コードとアース線がかみ込まないように引っ張りながら、機器を収納キャビネットに取り付ける。
 - 収納キャビネット内に電源コンセントがある場合、電源コードとアース線は左側の下方に引き回す。
 - 機器前面を少し持ち上げて、収納キャビネットにスライドして設置する。
ベース板が奥にずれて動いていないか確認する。
 - 収納キャビネット中心に、機器中心が合うように位置を調整する。

図11

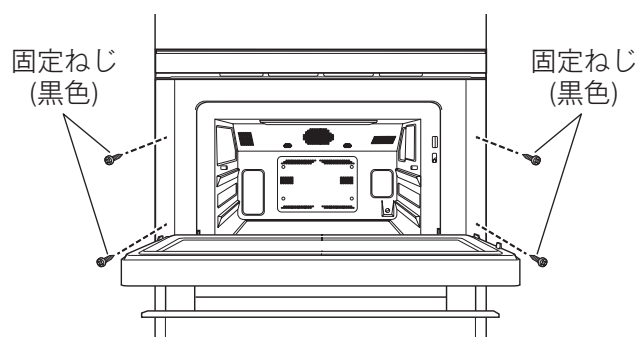


← キャビネット上とびらの下端面とのスキマ

← キャビネット下とびらの上端面とのスキマ

- ②収納キャビネットの外部に電源コンセントがある場合、たるんだ電源コードとアース線を引き出してから、電源プラグとアース線を電源コンセントに接続する。**図10**
- ③上下のキャビネットとびらに機器が接触していないか、スキマがあるか確認する。**図11**
- ④収納キャビネット側板に固定ねじに適した下穴を開ける。
- ⑤機器のドアを開けて、固定ねじ(黒色)4本で確実に機器を固定する。
固定ねじ：木ねじ4.1×25mm(黒色) **図12**

図12



6

設置後の点検確認

■下記のチェックリストに基づいて確認する。

No.	点検内容	参照項目	チェック
1	電源・電圧が100Vのコンセント(AC100V定格15A以上)を使用しているか (注1)	4	
2	機器のアース線は接地側のアース端子に接続しているか	4 5	
3	電源コードとアース線がキャビネットとびらや引き出しにかみこんでいないか	5	
4	ドアは、スムーズに開閉できるか	—	
5	下部とびらは、スムーズに開閉できるか	—	
6	機器とキャビネットとびらや引き出しと接触していないか	2 5	
7	下部とびらの奥につゆ受けと水タンクがセットされているか	—	
8	付属品がそろっているか	3	
9	機器、ドアに傷・打こんはないか	—	

(注1) 200Vで電源ONさせると、機器が故障します。

7

試運転

- ①正しく設置されていることを確認する。
 ②専用ブレーカーを「入」にし、下記の確認をおこなう。庫内に入っている水タンク、角皿、調理網は取り出しておく。

No.	点検内容	参照項目	チェック
1	ドアを開けると庫内灯が点灯するか(注1)	—	
2	ドアを開けると画面が点灯するか(注2)	—	
3	電子レンジ加熱の動作確認 ドア開(電源ON)→水を入れた耐熱性のコップを庫内中央に置く→ドア閉→ Start →20秒後、ドアを開けて、 コップの水が温かくなっている →確認できたら正常です。	—	
4	オーブン加熱の動作確認 ドア開閉(電源ON)→ Manual → オーブン → [1段 調理] → [予熱なし] → [160℃] → [1分] → Start →加熱終了後、 ドアを開けて、 庫内が温まっている →確認できたら正常です。	—	
5	水タンク、角皿、調理網を庫内にセットする(注3)	3	

(注1) 200Vで電源ON(ドア開)させると、制御基板が故障し、表示部が点灯しません。

(注2) ドア閉後、初期画面で放置すると1分後、自動的に消灯します。(ドア開後は、3分放置で消灯)

(注3) 蒸気吹き出し口付近に白い物が付着していることがありますが、製造工程上で水に含まれるミネラル分の作用によるもので、衛生上問題ありません。拭き取ってください。

③専用ブレーカーを必ず「切」にしてください。

④お客様への説明

- 必ず、取扱説明書に基づいて、本機器の取り扱いを説明する。
- 必ず、取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明する。
- 取扱説明書(保証書付)、設置説明書の保管をお願いする。